

許すこと 人それぞれに 訳（事情）がある 時の違いの憎しみかな。

人はみな 持って生まれし罪がある 罪あらずして転生はなし。

「自分を磨く」ための六か条

1. 夢のつぼみはゆっくりと咲かせる。
2. ひと手間をかけて、感性豊かに暮らす。
3. 寂しさに耐える力を身につける。
4. トラウマを乗り越える勇気を持つ。
5. 素直に「ありがとう」をいう。
6. 人の話を最後まできちんと聞く。

「気づき」とは、人間として当たり前の礼儀や行動、判断力、考え方そういうことを身につけることなのです。

自分自身に問題があるからこそ、逆に誰もが気づけるのです。

幸せになりたいからスピリチュアルを学ぶ……それはよくわかります。

しかし今学んだから、すべて、すぐにバラ色の人生になるわけではないのです。

これまで自分が気づけなかったために、人に対して失礼なことや、ひんしゆくをかうような行動をして、信頼を失ってきた原因がないか。それを考え、そして直していく努力を続けることも大切だと思います。

スピリチュアルは死ぬまで勉強するもの。心を成長させるのがスピリチュアルの役目です。

役目とはいっても、結局スピリチュアルも気づきと同じで、幸せになるヒントでしかありません。最終的にそれを考え、実践するのは自分自身なのです。

過去世において、また今世において汚れた生き方をしたとします。そのごびりついた汚れはすぐに落ちません。たとえていえば、アクの強い汚れは、ただ普通に洗っただけでは落ちませんよね。それでどうするかというと、ぬるま湯に長くつけて落とさなくてはいいけない。

汚れた生き方をしてしまった場合も、何十年もの歳月をかけて、ゆっくり、ゆっくり変えていくのです。

その心なくして、スピリチュアルを学んでも同じことのくり返しです。